



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

取材先

生品地区 仲良し二人のつながり



生品地区の北島勝子さん（83）と石原しげさん（86）はとても仲良しです。二人の家は歩いて10分くらいのところにありますが、お互いで行き来し合い一緒に散歩をすることが習慣です。

また、二人とも旦那さんを亡くされ一人暮らし。おすそ分けやお手伝いなど、何かあるとすぐ駆け付け合っています。

この日は、二人が暮らす市野井南地区のグラウンドゴルフの練習でした。はじめに、コースの除草作業をみんなで行い、グラウンドゴルフがスタートします。二人は同じ組で、おしゃべりしながら終始笑顔でグラウンドゴルフを楽しんでいました。



石原しげさんと北島勝子さん

習慣である散歩は健康の為はもちろん、お互いに様子の変化がないか、見守り活動としても行われています。「今日も元気に会えた!」とお互いの気持ちの安心を育んでいます。また、二人が散歩をしていることは近所の方や周りの方もよく知っているので、どちらかが一人で歩いていると、「あれ、今日はひとりかい?」と尋ねられることが多いと話します。地域の方達からも見守られ、安心して暮らしています。高齢になり、一人では不十分な作業なども、散歩中の会話の中で相談したり、解決したり。二人の暮らしには支え合いがいっぱいです。



散歩の様子

☑️ポイント

散歩やグラウンドゴルフに参加することは、身体の健康の為だけではなく、そこで楽しむこと、会話をすることで心の健康を保ち、更には心配ごととも周りと一緒に解決できる、地域の支え合い（お宝）になっています。

ウラ面では韮川地区をご紹介します!

市野井南地区の皆さん
取材のご協力ありがとうございました!

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

Ⅲ

石原町一区 作品展に行ってきました！



残暑が続く中、**芸術の秋**の先取りです！

8月20日から22日までの3日間、**Ⅲ**地区の石原町一区では遊友会（老人会）と育成会の共催により作品展が開催されました。2年に1度石原町一区と二区合同で地域の文化祭を開催していたのですが、コロナ禍を考慮して自粛に。規模を縮小して一区のみで、更には感染防止の観点から交流を控えた「作品展」といった形に変更しました。会場は100点以上もの作品で溢れ、ハンドメイドのバッグや洋服、育成会からは地元の小学生が描いたポスターや書道の作品などが展示されていました。

地域の元気は衰えず！



石原町一区では、この作品展のみならずコロナの状況を鑑みながら様々な地域の活動が継続されています。遊友会の小沢会長は「**全て自粛、何もできない**という発想ではなく、**こう対策すれば行える！これはダメでもこっちならできる！**」と考え、活動ができるだけ継続していくように心がけています。この考えは地域でも浸透されており、皆さんが「地域によく出かける、みんなと会えるきっかけが多くあって嬉しい」と口をそろえます。他にも「いけないときはすぐ心配してもらってしまう」と見守り、見守られの様子が発見できました。



～展示された作品～



育成会との共催は若い世代（親や子供）もつながりの大切さを学ぶことが出来てとても素晴らしい取り組みですね！



★あなたの地域のお宝情報を募集しています！

身の回りにお宝情報はございませんか？「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけて合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください！情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032